

1 開会

(事務局)

- ・(開会あいさつ、欠席者の確認)

2 教育長あいさつ

大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、第6回の整備委員会ということで、最終回となります。これまでにいただいた様々なご意見を参考に、修正した基本構想・基本計画が示されています。事前に配布しておりますので、本日は、ご意見をいただきながら最終確認する場となります。これまで6回にわたり、皆様に審議いただいたことに深く感謝を申し上げます。将来、子供たちにとって、よりよい教育環境ができるよう、今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。よろしくお願ひします。

3 委員長あいさつ

教育長からお話しをいただいたとおり、最終回ということですので、本日はしっかりとまとめていかなくてはいけないと思いますので、これまでの経緯について、私なりにまとめてみたいと思います。

河北町は近隣の町村に比べて、人口は多いほうだと思います。それでも、少子化の傾向は歯止めが利かないという中で、我々はなぜ、諮問を受けて協議をしているかということです。

我が国の教育制度は、6・3・3制です。その制度が日本にきてからおおよそ80年となります。この歴史の中で、最初は「6・3・3制はすごいね、いいよね」ということで日本に取り入れたわけですけれども、義務教育段階でも小学校6・中学校3、小中学校で6・3という2つの組み合わせがあります。その中で、子供たちの発達には、精神の発達と身体の発達があるときに、小学校6・中学校3の区切りでは賄えなくなりました。中一ギャップなど、いろいろな問題が出てきました。だから、小学校と中学校の結びつきを、もっと緩やかにしていかなくてはならないし、小学校と中学校が連携していくなくてはいけない。そのようなことから、小中一貫教育が、わが町には合致するのではないかという捉え方です。

小中一貫ならば、義務教育学校があるから、そうしたほうがよいのではないかという話がありました。ただ、義務教育学校は少子化だからするのではない。6・3・3制というのは、共通であり、選択の余地がないのです。別の学校に行きたいときも選択がない

のです。だから、小中一貫校と中高一貫校に複線化したのです。山形県では中高一貫校も選択できるわけです。中学校段階で進学する。それと同様に義務教育学校も、選択できるということにならなくてはならないのですが、なぜかその部分は、少子化だから義務教育学校にするという流れでやってきたのです。それはこれから流れではないのです。「うちの子供は小学校から小中一貫教育を受けさせたい」、「うちの子供は小学校に行って、中学校からは中高一貫教育を受けさせたい」という、複線化を取り入れるということなら、私は本来の流れではないと捉えています。

それなら、小学校と中学校は別の場所にあってもよいのではないかという話があり、現在の中北部小学校や南部小学校の校舎を使って統合すればよいのではないかという意見あると聞いています。でも、それでは1歩、2歩と前進しないのです。少子化の流れはどうにもならないことです。将来的には小中一貫を推進するために、1つにまとめたほうがよいのではないかというのが、整備委員会の考え方です。

それでは、どこに統合小学校を持っていくかといったときに、今回、整備委員会で皆様に検討していただいた結果、河北中学校が一番よいのではないかというところに行きついたという流れの中で、今日で6回目の整備委員会ということで、最終回ですので、その流れを踏まえながら、基本構想・基本計画がこれでよいかということです。骨子を揺らさないで、細部にわたって、もう少しこうしたほうがよいのではないかという、ご意見等をいただきながら、本日は進めていただければと思っているところです。

若干長くなりましたが、私の考えも含めてあいさつといたします。今日は、よろしくお願いします。

4 協議

(1) 基本構想・基本計画（素案）について

(委員長から)

- ・今日の協議は、その他を含めて2つ、基本的には、先ほど申し上げた基本構想・基本計画（素案）について、ご意見をうかがいたいと思います。

(事務局)

資料 No.1 河北町立小中学校基本構想・基本計画（素案）についての概要説明

(委員長から)

- ・説明いただいた内容ですが、事前に配布いただいておりますので、目を通してこられたかと思います。今日は最終回ですので、皆様の声をできるだけ多く反映させた上で、最終的なものにしていくという意図もありますので、今日は全員からご意見をいただければと思っております。特に1章P10の小中一貫型小学校・小中学校という内容については、基本的なものとして捉え、これを前提として、5章から7章あたりで、こ

れはもっとこうすべきだとか、疑問点などがありましたら、ご意見をいただきたいと思います。

(委員から)

・事前に資料送付いただきましたので、ある程度読み込んでまいりました。前回の会議の内容が非常に色濃く反映されていて、私の個人的な意見も吸い上げていただいたこと、非常にありがとうございます。前回提示されたものから、ブラッシュアップされて、子供たちの交流が促進されるとイメージしやすい基本コンセプトで、私は大賛成だと思って読ませていただきました。その中で前回言いそびれたことがあって、P100の維持管理・更新性というところに関わってくるところ。多雪地域であることは、その通りだと思います。最近の豪雪による校舎への被害や子供・来校者等の怪我への配慮等、学校には様々な配慮するべきことが出てきている中で、あれだけ大きな校地で、正門からエントランスまでの除雪作業を考えたときに。アスファルト等を含め、特別な舗装の道路を考えていると思いますが、今はいろいろなところで融雪設備が導入されてきていると思います。除雪にかかる人件費や燃料費を算出したときに、融雪設備を導入したときと比べるとどうなるのであろうかと考えます。それから、将来的なメンテナンスについては個人ではわからないのでプロにお任せしたいと思いますが、予算的に校地内に融雪設備を導入することが現実的かどうか、費用対効果といったときにどうなるか、意見として申し上げました。よろしくお願ひします。

(計画支援)

・今回の基本計画においては、積雪、除排雪への対策を具体的に決定するところまでできていないと考えています。いただいたご意見は重要な内容ですので、設計段階にしつかり議論されるように、課題を含めた文章を計画目標に加えさせていただきます。

(委員長から)

・維持管理を含めて設計との絡みもあると思いますので、反映できるようによろしくお願ひしたいと思います。

(委員から)

・P6の洪水に関するハザードマップについて、避難所の位置が変更になるという説明を受けているのですが、この図で良いのですか。

(事務局)

・おっしゃる通りに、今月、ハザードマップが更新されておりますが、学校整備委員会の検討にあたっては、更新前の図で検討させていただいたので、図には令和7年7月時点であることを示し、更新前の図を示しています。ハザードマップは、学校の建設場所を検討するために用いたものであり、今回の変更点は場所を選定するという意味で影響がなかったと考えており、あえて検討した時点の図を載せさせていただいたということで、ご理解をお願いしたいと思います。

(委員から)

- ・計画に、防災倉庫という部分があると思いますが、避難人数なども関係してくると思いますけれども、大丈夫なのでしょうか。

(事務局)

- ・避難場所や人数等も変わるかもしれません、今回の基本構想・基本計画ではなく、別途、防災計画のほうで議論していく内容と考えています。

(委員長から)

- ・防災計画の中で議論していく内容になるため、基本構想・基本計画の P6、P7 については整備委員会として建設場所を検討した時点の図とし、別途防災計画の視点からしっかりと検討・対応していきたいというお答えだと思います。よろしいでしょうか。

(委員から)

- ・P10 の小学校、中学校の整備というところですけれども、小中一貫校のメリット・デメリットということで、中間報告にはなかったことがあります。このデメリットというところで、通学距離の増加とありますが、学校統合して小学校を一つにして、中学校の場所に建てるということは、義務教育学校、小中一貫校のいずれでもデメリットとなるので、小中一貫校のデメリットとして捉えるのはどうかと思いました。
- ・義務教育 9 年間の教育課程となる義務教育学校としたときに、学校統合による精神的な負担ということになっているのですが、小中一貫でも一つの学校になるような捉え方をしたので、このような表現でよかったですのかどうか。ただ基本計画をまとめる上で、こういう表現、書き方になるということであればそれでもよいと思うのですけれども、少し疑問に思ったところでしたので、確認のため、お話をさせていただきました。

(事務局)

- ・事務局のほうで文言の整理をさせていただきたいと思います。距離については、今よりも遠くなるのは当然であり、その上で町の中心的な場所を選んだという認識でございます。
- ・2 点目について、小学校 6 つを 1 つにした場合でも統合なので、義務教育学校とした理由の表現としてはふさわしくないようにも思われますので、事務局のほうで検討させていただければと思います。

(委員長から)

- ・よろしいでしょうか。微妙な表現でニュアンスが変わってくるということは確かにあります。例えば、今までも書いてありましたけれども、河北町としてみると、中心地にある河北中学校とすることによって、距離の平等感が得られるということも一つのメリットであり、遠くなることもあるのだけれども、そのあたりについて、もう少しわかりやすく表現する必要があるという感じがいたします。ありがとうございました。他にございますか。他になれば、全員から自分の立場を踏まえて、保護者の方は保護者なりに、地域の方は地域の方なりに、これまでの感想も含めて、基本構想・基本計画についてのご意見をおうかがいしたいと思います。

(委員から)

・ここまで、貴重な話し合いの中に入つて、いろいろ思うことがありました。皆さん之力でよい学校ができればよいなど、思つております。話にもあつたように、少子高齢化ということももちろんありますので、やはり子供たちがいきいきとできる学校にしていただくということは当然なのですけれども、地域の方々のハブとして、楽しく安全に使って、防災的にも学校があることで、河北町の住みやすさに大きくか変わつくるということを整備委員会に参加させていただいて感じたところでした。よい学校ができればと思いながら、不安もあるのですけれども、私たちの子供にも関わつくることなので、先ほど話のあつたデメリットとか、精神的なところとか、先生だけではなく、僕たち親とか、地域の方々が協力して、みんなで支えあってよい学校にしていければと思います。

(委員から)

・P93で垂直積雪量が1.1mとなっています。万が一、大雪のときに雪を落とさなくてはいけない場合も想定して、安全に屋根に上つていけるような構造も考えておいたほうがよいのではないかなと思いました。

・この会に関してですが、去年から始つたのですよね。

(委員長から)

・整備委員会は今年からです。去年はあり方検討委員会です。

(委員から)

・去年のあり方検討委員会で、せつかく夢を語つていたものが、この会ではあまり伝わつてこなかつたのかなと思いました。できれば、その夢とかを私たちが引き継いで、話し合いをしていたら、もう少しスマーズに行けたのではないかというのが、私の感想です。

・概算ですが55億円という、多くの金額がかかるということなので、子供たちのことだからというだけではなくて、町民の方にも納得していただいて、みんなで応援していけるような学校にしていただけたらと思っております。

(委員長から)

・あり方検討委員会から、私はずっと関わらせてもらつてきたので、私の責任でもなくはないですね。その夢を整備委員会に持ち込めば、もっと違つたのだろうと思いますけれども、整備委員会は今後整備するということで、どちらかというと建築的な立場に立つての話し合いに終始してしまつたのかなと思います。やはり、皆さんにとっては夢を語るということが一番なので、本当によい学校をつくる上で、どうなるかということを、これからもそれぞれの思いを持って進めていくということで反省しています。

・積雪に関してはどうですか。設計の段階の話かとは思います。

(計画支援)

- ・計画条件では、法的な積雪荷重の条件として示しています。維持管理としては、計画目標のほうに、屋根部分の考え方として、登れるようにすることを追加させていただきます。

(委員長から)

- ・P104 の予算に関してはどうですか。町民が一番聞きたいところでもあると思います。

(事務局)

- ・後ほど、今後の予定ということで申し上げようと考えていましたが、今後、基本構想・基本計画案として、パブリックコメントなどもしていく予定です。
- ・各施設に赴いて、基本構想・基本計画案を説明する機会をいただけるようであれば、調整しながら、小中学校や幼稚園で、子供たちの保護者向けに説明をしていきたいと思っています。
- ・パブリックコメントの後、案がとれた後も町民説明会でもと、意見がありましたので、より多くの方々に今後的小中学校の整備方法や中身についても、詳しく説明させていただきたいと思います。広報やホームページもありますけれども、できるだけ多くの皆さんに説明をして、ご理解をいただきたいと考えています。
- ・その前にまずは、教育委員会や議会にも同じ内容を説明していきます。

(委員長から)

- ・概算の数字が出ていると、一人歩きする危険性がございます。見てみると、表の下に、「変動する可能性があります」ではなく、「変動します」と書いてあります。「変動します」というのは最低限であるということで、皆さんも認知していただければということかと思います。

(委員から)

- ・今回の話し合いの中で、子供たちが新しい学校に行きたい、楽しいと思ってもらえるようなものにできあがればよいと思っています。また、それに関わるすべての方々、保護者もですけれども、地域の方々にとつても新しい学校ができてよかったですと思ってもらえるような形になれば一番よいのかなと思います。それが将来へと続くような形になれば、なお理想なのかなと思ったところです。引き続き、事務局の方でも、計画をまとめたりと大変かと思いますけれども、よろしくお願ひしたいと思います。

(委員から)

- ・小学校の保護者代表として参加させてもらっています。この整備委員会で基本構想・基本計画については、これまでの話し合いの中で出てきた内容等、しっかりとまとめていただけたと思い、うれしく思っているところではあります。
- ・自分のところの小学校に関しては、資料にあるのですけど、実際、入学してくる子が少ないということで、一気に人が減ってきているというのを、ひしひしと感じているところであります。実際に親たちの話を聞くと、兄弟がいるから下の子も入るかもという話も聞いていますし、兄弟がいない子たちは、自分のところの小学校に入るか

も悩んでいるような話も聞いたりしますので、自分のところの小学校の終わりという、もっと早く来てしまうのかなと思っているところではありました。

- ・そのような中で、令和13年度の開校に向けて、これまで話してきたわけではありますけれども、皆さんの立場や考え方はあるとは思うのですが、開校に向けて、どうやってよい学校をつくっていくかという話し合いの中で、どうしても根本的なところからひっくり返すような話が出てきたりというのもあったりしたのは、残念だったと思うところもありました。正直、子供たちにとって、よりよい学校づくりについての時間をもう少し作れたら、令和13年度に向けてよい話し合いになっていくのかなと思いますので、これからも話し合いが続いていくと思いますが、そういった場、時間がいっぱいとれるようにしていけたらよいなと思っておりますので、よろしくお願ひします。

(委員長から)

- ・ありがとうございます。日本は法治国家で、いろいろな意味で法律上、守られていて、やらなければいけないことがあるのですね。その中に教育の機会均等ということがあります。日本国中どの子供にも、保護者は平等な教育を受けさせなければいけないです。今まではどうちらかというと、小規模校のほうが、先生が手をかけてよい教育をしてくれるのではないかということを言われてきて、それならそちらの方に行くべきだという意見があります。つまり、一つにまとめるのではなくて、小規模校をたくさんつくったほうがよいということ。でも、小規模校をたくさんつくることが、果たして本当に機会均等なのかということですね。何人以上の学校をつくればよいかという最低限もないのですよね。それなら、よりよい環境をつくるためには、しっかりとした先生方をそろえて、設備もそろえて、よい環境の中で教育をしていく。これが私たちの町の将来あるべき姿だと、私は捉えております。そういう意味で、小学校の関係者の皆さんには、本当に待ち望んでいるかと思いますけれども、できるだけ早く実現することが必要だと思います。

(委員から)

- ・難しい話があまりできないので、手短に。これまで皆さんお疲れさまでした。自分の子供だけでなく、町の子供たちみんながよりよい学習、友達づくりができるような小学校をつくっていただければと思います。よろしくお願ひします。

(委員から)

- ・学童保育所として参加しています。なかなか難しい話で、意見などが出せずに、とても心苦しかったのですけれども、大変勉強になりました。
- ・学童保育所としましては、小学校が統合しても、まずは既存施設を使用していく方向で4つの学童の意見がまとまっています。その後については、児童数や施設の老朽化なども視野に入れて、今ある小学校を使わせていただけたらと、個人的には思っています。
- ・また、統合に向けて4つの学童での交流ということで、令和13年度に向けて子供たち

がよりスムーズに学校生活が送れるように、学童同士での交流のほうも深めていこうと話しています。

- ・皆さんから意見を出していただいたように、少子化が進む中ですけれども、いまの子供たちが大人になったときに、河北町で子育てがしたいと思えるような、そのような町になっていければと思っています。その中心となる学校教育を、教職員、保護者、私たち地域のほうで、力をあわせて作っていけたらと思っています。

(委員長から)

- ・子育てするなら河北町、一人一人が力をあわせて進めていくことが必要になるということを聞かせていただきました。ありがとうございます。

(委員から)

- ・中学校を預かる身ですので、今回の整備委員会に参加して、中学校の立場からは、すぐに建て替えることができなかったというのは、とても残念です。中学校の先生方からのゾーニングなどに関する意見が少なかったのも、それがあるかなと思ったところです。校舎は一番古いので、これからどのように改修しながら使い続けていくかというところは、大きな課題になるかと思っています。そこについては、仕方がない部分もあるし、受け入れなければならないという部分がございますので、小学校の新しい教室から、いきなり古い校舎というようなことになるかもしれません、そこで大事なのはやはり、教育の質ではないかなと思っています。先週、小中の交流を含めて本校で公開研をさせていただいたて、私のほうもこれからという機運が高まっているからこそ、小中が連携して教育を進めていくというのが大事なことではないかということで、話をさせていただいたのですけれども、物理的に遠く、小学校が 6 つに分かれているので、まだまだ小中連携の教育部分では一貫したものができるないというのは事実ですので、これをなんとか、開校してからやるのではなくて、開校するまでに教職員の中ですり合わせをしながら、進めていかなくてはならないと思っているところです。

- ・他の市町で勤めたりしていると、河北町がどれだけ教育予算をとっているかがわかります。河北町は教育にお金をかけている町です。意外とそこに住んでいるとわからぬいところですが、他町にいくとすごく感じます。住んでいると、それが当たり前になってしまい、ますいかなというところも実はあります。河北町のそのようなところもアピールしながら、是非よい学校ができるように、中学校の立場としては、これ以上遅くならないようにというところがございますが、そのようなことでお話をさせていただきました。ありがとうございます。

(委員長から)

- ・ありがとうございます。教育の質、校長先生から力強い話をいただきました。ありがとうございます。

(委員から)

- ・ 今年度、河北町校長会長を拝命したので、このようなワクワクする会議に複数回出席させていただいて、さまざまな思いの発言をさせていただきました。やはり、自分事として考えられたということが、私にとってありがたかったと思っています。今後は2つ楽しみがありまして、一つは統合小学校の名前がどうなるかということ、もう一つは、統合小学校が開校するときは現職を退いていますが、地域住民の一人として気軽にお茶を飲みに行きたい、子供たちの様子を見に行きたいと、そのようなことを楽しみにしております。本当にありがとうございました。

(委員から)

- ・ 私は、区長会副代表として当初から参加させていただきました。皆さんからの意見をいろいろ拝聴させていただきましたけど、当初の内容からいくと、地域、子供たちにマッチした学校になっていくのかなと思っているところです。
- ・ 福島県大熊町の学校を視察に行きましたけれども、子供たちが上下関係なく仲よくして、個人の意思で勉学に励んでいるということが必要なのかなと思っているところです。今の子供は、比較的、親もしくは先生方から抑えつけられているのかなと、私は思っているのですけど、大熊町の子供たちを見ると、互いに連携しながら仲よく楽しく勉強に励んでいると思うし、個人の意思も強くて、遊ぶときは遊ぶ、勉強するときは勉強するという形で生活している姿に感銘を受けました。河北町の小中一貫校でも、そういった学校生活が送れるようにと思いますので、教職員をはじめ地域の皆様方から協力をいただいて、素晴らしい小中一貫校にしていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

(委員長から)

- ・ 地域の方々のご理解が必要になります。いくら学校がよいかといつて前には進まない。そういう点で、大変必要な意見だと思います。地域のほうからもバックアップして、みんなで育つていける学校にしていけたらと思っております。ありがとうございました。

(委員から)

- ・ 私は、あり方検討委員会から関わらせていただいたのですけれども、あり方検討委員会のときは、夢をもって検討させてもらいましたけれども、ただ、将来的な人口減とか、現実にぶつかってくると、なかなか思った通りのお金が出せないところもあるのかと思っていて、それがようやく今日になって、この資料がまとまったということで感無量なのです。これから、地区の方にもいろいろな説明があると思います。その段階で、安全性を保つための施策については、少しお金がかかってもやっていくしかないと改めて思います。よろしくお願ひします。

(委員長から)

- ・ 一番やってはいけないことは、子供の命をなくすこと。安全でなくては教育ができない。非常に大きな命題だと思います。ありがとうございました。

(委員から)

・令和 6 年の 4 月から、会議に出席させていただきました。最初に感じたのが、何回かあった地域説明会に参加する人が本当に少なかった。我々は老人の世代になっているのですけど、我々の世代が心配するような問題ではないと思いました。なぜ、若い世代、現役の世代が関心を示してくれないかというのが、すごく歯がゆいと感じた。結局、私が地区の区長会の支部長として、区長会のほうで何とか出してくれというという形で頭数をそろえたという思いがあります。そのときに出でてきた人は、区長会の各区長で、60 代から 70 代しか出でこない。これから議会のほうに説明していくと思うのですけれど、先日も、議員さんと語る会があったとき、議員への説明は整備委員会で決まっている内容ですよという形で逃げるような回答があったと聞いたものですから、皆さんのが一生懸命決めた内容のだから、これを実現するためにも、逃げるような形ではなくて、議員を説得するような説明をしていただければと思いました。

(委員長から)

・これからが、いろいろな意味で意見が出てくる。他の市町も同じなのですね。ここまで段階では町民や市民の意見はなかなか出でこない。今までのケースではこの後から問題がおきたこともあります。それぞれ立場でということでなく、本音で語り合えるような方向性で進めていただければありがたいと思います。

(委員から)

・去年 4 月から参加しています。いろいろ話は聞いていたのですが、最初は地域の人も学校をなくすなよ、という人が結構いました。何でかと話していくと、学校がなくなったら地域がおかしくなるのではないかという。でも、子供たちの現状をみれば、こんなに人数が少なくなつて、複式学級になつたらどうなつていくのか、だったら、最初に考えなければならないのは、子供のために考えてから言わなくてはならないのではないかと言つたら、結構みんな納得してくれて、最近はそういうことを言う人がいませんでした。

・あと、子供が話をどこまで聞いているかわかりませんが、学校が潰されると言っている。令和 13 年ごろに潰されるのだと。何でそんなことを言うのか聞くと、みんな言つているという。私は西里なのですけれども、学校の運営委員会で言わせていただきました。もっと子供にきちんと説明してはどうなのですかと言つたら、紙に書いてこうやるとなつきます。令和 13 年の 4 月から新しい学校になると言つたら、子供たちが素直に受け入れてくれたと聞いて、良かったなと思っています。

・先日には公共交通の会議がありました。公共交通で、私がすごく印象的だったのは、スクールバスを利用して地域の人も乗れないかという意見もありました。だから、いろいろ今から課題について、その地域の子供たちと一緒に考えるときに、やはり地域の人の行動も一緒になつてもよいのかなと、思いました。

・昨日は議員と語る会がありました。逆に議員の方からどうなつているのですかと聞か

れました。前回、見学にも行って、小中一貫校も勉強したのに活かせていないのではないかと言いました。

- ・これから、議会の一般質問はじめ、特別委員会まで説明しなくてはならないかと思います。お金の問題が独り歩きしている部分も多々あって、ある議員は今までの学校の今までよいというような感覚のもいた。大変失礼な言い方ですけれども、もっと議会と話し合っていただければありがたいなと思っております。今から、最終的には議会にかけて賛成を得なければ進めないわけですので、大変でしょうけれど、よろしくお願ひしたいなと思っております。
- ・委員長もおっしゃったように、一つのステップとして、建設費は心配ですけれども、とにかく一歩進んで、新しい方向に進まなくてはダメかなと思っていますので、今回、整備委員会に入らせていただいて、たくさん勉強になりました。ありがとうございます。

(委員長から)

- ・ありがとうございます。町民の方々、学校関係者、そして議員の方々は地区の代表ですので、みんなが一つになって前に進んでいかなければ達成できないことですので、よろしくお願ひしたいと思います。

(委員から)

- ・最後に言うのも変なのですから、是非、おいしい給食のほうもよろしくお願ひします。私は、給食が好きで学校に行っていたみたいな子供だったので、是非よろしくお願ひします。

(委員長から)

- ・国の方でも、給食費無償化など検討しています。それに上乗せして町の方でやつてていくことで、より良い、他にない給食が提供されるかもしれないということかと思います。

(教育長から)

- ・大変、力強いお言葉をいただき、ありがとうございます。今の段階では、中学校の敷地に段階的整備として、まずは小学校を建設するという方向であります。我々が目指している小中一貫の教育は、その時点でも成り立ちます。先日、河北中学校で音楽コンクールが行われました。先ほど校長先生からもありましたように、中学校で授業公開をしておりました。音楽コンクールは敷地内に小学校があれば、先輩の中学生の音楽コンクールを見に行きましょうといえば、いつでもすぐに模範が見られる。授業公開についても、授業が終わったあとの研修会（事後研）では、小中学校の先生方が1グループ30人くらいで、一つの授業について小中学校の先生方語り合う、それがやはり、理想の姿だということをつくづく感じたと思います。これまでたくさんの会議で、皆さんの知恵をいただいて、我々が目指そうとしている学校像を是非、実現したいものだと思いました。これから様々な場所での説明や膨大な資金などの課題もあり

ますけれども、当局と相談しながら是非、子供にとってよい教育環境を実現していきたいと思っているところであります。長い間、皆様からいろいろとご支援いただきましたこと、深く感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひします。

(委員長から)

- ・基本構想・基本計画等について皆様からご意見をいただきました。前向きな形で進めていかなければいけない、我々も委員としてバックアップしていきたいと思っています。本当に貴重な資料も出していただきました。ありがとうございました。
- ・「村を捨てる教育ではなく、村に戻る教育をしていかなくてはいけない」と言われた先人があります。河北町には交通インフラも少ない。いろいろな意味でどんどん人口減少している中で、この街を捨てる教育をしていないかという、学校だけでなく、親も地域も、地域に戻る教育を本当にしているのだろうか、ということを常に私は気にかけているところでございます。
- ・今回、皆様からいただいた意見をもとに、新しい小学校、中学校、これが河北町に戻る教育という教育をしていきたい。そういう視点で進めていく必要があると感じています。

5 その他

(事務局)

- ・今後のスケジュール説明

(委員から)

- ・聞かれることが多いので、詳細なスケジュールを、紙ベースで配布してほしい。

(事務局)

- ・スケジュールを示せるものを区長会長へお渡しする。

6 閉会